



秋中だより

藤沢市立秋葉台中学校

校長 福田 まり

2026年4月号 | 2026(令和8年)4月10日

新年度がスタートしました

4月1日より秋葉台中学校の校長を務めさせていただくことになりました、福田まりです。これまで3年間、教頭として皆様に支えていただきました。またこうして、引き続き皆様と共に歩んでいけることを心から嬉しく思っております。生徒たちが笑顔で過ごし、保護者の皆様や地域の皆様に「この学校でよかった」と安心していただけるような、温かな学校づくりに努めてまいります。どうぞ、これからもよろしく願いいたします。

秋葉台中学校 教育目標

- (1) すすんで学ぶ人となる
- (2) 健康な人となる
- (3) 心豊かな人となる



重点目標

『未来をデザインする力(資質・能力)の育成』

- (1) 知識を活用し、自ら課題を解決する力
- (2) 心身を整え、失敗を恐れず挑戦し続ける力
- (3) 違いを認め合い、仲間と共に高め合う力

スローガン

未来は自分でデザインする

皆さんがこれから生きていく未来は、誰かが正解を教えてくれるものではありません。自分がどうありたいか、どんな自分になりたいか。その地図を自分自身で描き、形にしていける力、すなわち「未来をデザインする力」を、この秋葉台中学校を卒業するまでにしっかりと養ってほしいと考えています。

秋葉台中学校の桜。
今年は始業式・入学式も見事に
咲き誇っていました



秋中の素晴らしい桜ですが、最近になって、桜が枯れたり、朽ちたりすることが多くなってきています。そのため、専門業者に安全面も含めた調査を依頼しています。

中学校でも「35人」学級へ

小学校では既に「35人学級」が導入されておりましたが、中学校でも今年の1年生から「35人学級」となりました。今まで「40人学級」だった中学校の教員にとって、初めての経験です。1年生の先生に「35人学級」の感想を聞いたところ「教室が広く感じる…」とのことでした。一人ひとり丁寧な指導につなげることができるよう、今後の取り組みに注目したいです。

始業式ではこんな話をしました(一部抜粋)

(学校教育目標から)

一つ目、「すすんで学ぶ人となる」未来をデザインするシナリオを書くのは、皆さん自身の「知恵」です。私はあえて「知識」ではなく「知恵」といいます。「知識」と「知恵」の違い、みなさんはわかりますか？簡単に言えば、知識とは、学習や経験を通じて得た「情報」や「データ」の蓄積、知恵とは、持っている知識を状況に合わせて正しく判断し、「活用する能力」のことです。「自ら学び続ける」姿勢を持ち、「自ら課題を見つけ、粘り強く取り組む」ことで、自分の道を切り拓く力を蓄えてください。

二つ目、「健康な人となる」どんなに素晴らしい未来を描いても、それを実行する心身の活力がなければ始まりません。「自身の心身の健康に気を配り」、失敗してもまた立ち上げられる、たくましい自分をデザインしてください。

三つ目、「心豊かな人となる」未来は一人で創るものではありません。自分をかけがえのない存在として大切に思い、同時に、隣にいる仲間の気持ちを自分のことのように想像すること。このことを忘れないでください。仲間の意見を尊重し、違いを認め合うことで、自分とは違う色を持った仲間と協力してください。「共に高めあう」中で、未来のデザインはより鮮やかで、豊かなものになります。

(中略)もちろん、常に順調とは限りません。どう描けばいいかわからなくなったり、自信をなくして動けなくなったりすることもあるでしょう。そんな時は、「あいさつや言葉遣いを大切にする」という、人との繋がりの原点に立ち返ってください。「おはよう」「ありがとう」。その小さな言葉が、誰かの、そして自分の心に灯をともし、次の一歩を踏み出す勇気をくれるはずです

足元の小さな一歩を大切に。そして、仲間と共に高めあいながら、一人では決して描けない、鮮やかで力強い未来を、この秋葉台中学校で創り上げていきましょう。

校内の小さなオアシス

校舎内に設置されている3つの水槽が、生徒や教職員の心を和ませています。鮮やかなオレンジ色のプラティや、青く光るネオンテトラが泳ぐ様子は、まさに校内のオアシス。忙しい毎日のなかで、水槽の前は誰もがホッと一息つける穏やかな場所になっています。生き物たちとのふれあいを通じて、豊かな感性を育てほしいと願っています。

